

## 神奈川県青少年問題協議会第4回企画調整部会議事録（抜粋）

（牧野委員）

- ・ 「育成」をとったのに、「はぐくむ」ということは、ある意味では矛盾する印象があると思います。ただ、やはり、育んでいくことは大事だと思いますので、表現を「子ども・若者の生きる力をはぐくむ」というと、外部の大人が彼らの力を育んでやるということで、育成になってしまいますが、「子ども・若者自身が生きる力をはぐくむことを支援する」となれば、彼ら自身が自分の力をつけていくことを、周りが支えるという表現になるかと思いますので、もう少し表現の工夫をしたらどうかと思います。
- ・ ある価値観を持ち、彼らを導いていく、ある方向に育てるということではなく、彼らが育つのを支援することや、育つことを待つということの方が大事なのかなという思いもあります。育成という、彼らを客体化して育てあげるという感じではなく、彼らが自分の力をつけていくことを、周りが支えていくようなことなのかなという思いもあります。

（青木委員）

- ・ 周りの大人が、育むことはとても大切ではないかと思っています。もちろん、子ども・若者が自立し、生活していく、周りの大人が、そういう社会を作っていくのが大切なのではないかと思っています。

（小泉委員）

- ・ 名称の改定には賛成ですが、「はぐくむ」をとるということについては、皆さんの御意見を伺ってから判断したいというのが正直なところでした。子どもは、ある程度守られる立場であるという意味では、育むという視点を全く外すのは、どうなのだろうと感じています。5ページの改定の例のように、「子ども・若者の生きる力をはぐくむための支援」ですというような表現はいいかなと思います。

（尾崎委員）

- ・ 「今後10年くらいの中に、地域の大人が、青少年の健やかな成長に責任を持つようになっている」と考えている人が、たったの13%という結果となっています。誰が、責任を持つのかを明確にするという意味で、社会が主語であり、子ども・若者の育ち、育みを支援するという考え方が、より明確になっていく必要があるのではないかと、この調査結果を見て感じました。これまで、皆さんが発言されている通り、育むということも含めて、支援なのだという視点が、指針の最初のところにしっかり、語られるべきなのかなと感じました。

（西野委員）

- ・ はぐくむ機会やはぐくむための支援など、「はぐくむ」という文字は入ってもいいような気がしますが、育成を外した意味というのは、捨てがたいとも思っています。だから、かろうじて、はぐくむための支援とか、はぐくむ力や、はぐくむ機会を支援するというようにしていくことで、全て、はぐくむを外す訳ではないけれども、育成と読み取られ、一方的に上から下という感じではないように見える表現を検討していくのだと思います。

(臺田委員)

- ・ 「はぐくむ」こととなると、大人も一緒に成長していくという意味合いが入っていくのではないかと思います。そういった意味合いが入っていた方が、県民の意識を含めて、他人事から自分事になる、大人も一緒にはぐくむ、成長していくということが必要ではないかと感じている。

(藤井委員)

- ・ 支援という言葉は、何を支援するのかということを、明確に示したほうがいいのではないかと考えています。この場合ですと、自己形成を支援することかと思しますので、そうした意図が伝わるような表現を選んでいくことが重要なのかなと考えています。「はぐくむ」ということも、ぼんやりしてしまって、色々な意図を読み込んでしまうのではないかと思います。支援という言葉を使う際には、何を支援するのかというところを明確に示すような、改定の方向に向けて進んでいくといいのではないかと考えています。
- ・ 資料2の6ページの社会環境の整備について、「社会全体が子ども・若者の育つ環境に関心を持ち」という文章で、子ども・若者の育つ環境という表現があるのですが、環境は一樣ではないと思いますので、多様な環境というものが、イメージされるような表現であると望ましいのではないかと考えております。

(福山委員)

- ・ 自分の友人関係や家族だけではなく、ネットを通じて、全国津々浦々、色々なところで、生活をしている同世代の人達が見られるようになっているので、自分が頑張れたことや、人からすごいねと言われたことでも、他の人はもっと、すごいことをしているのになどか、そういうことを無自覚に思ってしまうていて、そもそも、価値観や存在感を自覚しにくいこと自体を、子ども・若者はそれが自覚できていないのではないかなと思っています。
- ・ 「青少年をめぐる昨今の問題は親や地域住民などの大人の責任が大きい」と答える人は過半数なのに対して、「今後10年くらいの中に地域の大人が青少年の健やかな成長に責任を持つようになる」と考える人は13%と、自分たちが地域の大人に該当していることを自覚という言葉がいいかわかりませんが、目標を立てて実行していくのは、子どもではなく、大人の方だと思うので、「はぐくむ」など、他の言葉に置き換えるにしても、そういった意味合いを持たせるのはいいことではないかと思いました。

(長谷川部会長)

- ・ 育成をやめて「はぐくむ」という言葉を使用するにしても、報告書の冒頭の部分で、そのことを丁寧に書き込むなど、そういうことでの共通理解のもと、報告書を読んでいただくということをしなないと、なかなか展開がしにくいのではないかという気がしています。